

あま かわ べ  
天の川辺



双葉中学校通信  
No.11(2023.11.6 発行)  
〔文責:澤田隆文〕

教育目標 心を磨き、体技を磨き、夢・志をもって挑戦し続ける自分をめざそう  
～努力を積み重ねる誠実さと情熱、しなやかな心で、可能性は無限大～

目指す生徒像 自分の将来に夢を抱き、自分の力を社会に生かそうとする志をもった双中生

双葉中学校ホームページ  
はこちらから



## 「言魂(ことだま)」という力に乗せて

「言魂(ことだま)」とは、「古代の日本において、「言葉」に宿っていると信じられていた不思議な力」を意味する言葉です。古来、「言葉」には「言魂(ことだま)」が宿っていて、「声に出した言葉が、現実の事象に対して何らかの影響を与えると信じられ、前向きな言葉を発するとよいことが起こり、後ろ向きな言葉を発すると災いごとが起こる」と言われてきました。つまり、「言葉」には「言魂(ことだま)」が宿っていて、発した「言葉」には、物事の結果や人の判断、人々との関係にも影響を与える力があると考えられていたのです。

「言葉」は、他者とのコミュニケーションを図る上で欠かせないものですし、誰しも自分の気持ちや考えに基づいて言葉を発します。ここで、私たちが考えたいのは、同じ「言葉」を繰り返し発する習慣により、自分自身の意識や認識が知らず知らずのうちに自然と置き換えられていくことがあるということです。例えば、「自分はやればできるんだ。」「自分は、集団や社会に役立つ存在なんだ。」という前向きな「言葉」を繰り返し発することで、「さらに自分の成長を期待して、さまざまな物事にチャレンジしてみよう。」という行動につなげていくことができます。このことは、家族や友人がかける「言葉」も同じだと言えます。「あなたはやればできるんだよ。」「あなたは、集団や社会に必要とされている存在なんだよ。」と繰り返し「言葉」を発することが、本人の考え方や生き方に大きな影響を与えます。

もう一つ、忘れてはいけないのは、「言葉」は他者の心を乱したり傷つけたりする力を持つということです。私たちは、そのような言葉を「言葉の暴力」と表現することがあります。あなたが発する「言葉」が、どのような意味を持ち、どのように他者の心に響くのかをしっかりと考えていくことが大切です。このように、「言葉」には「言魂(ことだま)」が宿り、人の深層心理に深く影響を与える効果があります。「言魂(ことだま)」という力に乗せて、私たち一人ひとりが発する「言葉」を改めて大切にしていきたいものですね。

## 地域貢献活動 字別ボランティア清掃を行いました

10月26日(木)午後、秋晴れの中で全校生徒による字別清掃活動を行いました。この活動は、本校の地域の環境貢献活動の一つとして毎年全校生徒で取り組んでいます。

自分たちが暮らす地域で、ゴミ袋を持ってゴミ拾いや草むしり、側溝清掃などを行うことで、一人ひとりが地域の皆様に支えられているという意識や、地域の一員としての自覚をもつことができる機会となっていくことを期待しています。

活動には、各字の区長さんや民生委員・児童委員の皆さんも一緒に活動していただいたり見守りをしていただいたりしており、中学生の地域貢献活動を支えていただいています。加えて、近江地区社会福祉協議会のご協力もあり、地域に根付いた活動になっていくことを期待しています。ご協力や見守り等、地域の皆様にはたいへんお世話になりありがとうございました。



## 生徒集会で本校卒業生が自身の留学経験を講演

10月23日(月)に生徒集会を行いました。  
生徒集会では、米原高等学校2年中嶋さんが、ご自身の留学経験をもとに後輩に向けて講演をしてくださいました。

高校進学後、文部科学省「トビタテ留学 JAPAN」の制度を活用して、アメリカサンフランシスコに渡り約1か月の留学を経験されました。講演では、動物の置かれている状況が、日本とアメリカで大きく異なることを訴え、「日本の現状を知ってほしい。」と呼びかけました。また、留学にチャレンジしたときの気持ちなどを、後輩に向けて熱く語ってくれました。

集会では、生徒会役員の皆さんが、今年度リニューアルした、双葉中学校3つの宣言「双葉人権宣言」、「双葉交通安全宣言」、「双葉 SNS 宣言」を全校生徒に発表しました。

本校の先輩が考え、本校の生徒が大切に受け継いできた3つの宣言を、今年度の生徒会であらためて見直し初めて改訂したものです。全校生徒全員でこれからも受け継いでいってほしいと願います。



## 双中生が地域でのボランティア活動に取り組んでいます

10月22日(日)、本校吹奏楽部の皆さんが近江学びあいステーションで開催された「学びあいふれあいの里フェス」でオープニングを飾る演奏をしました。地域の皆様にたくさん集まっていただき、練習を重ねた演奏を聴いていただきました。

また、10月21日(土)、28日(土)には、「フードバンクまいばら」と社会福祉協議会さんによる食糧支援活動に本校の生徒がボランティアとして活動しました。フードロス削減のため地域から集まったお米などの食糧を袋づめする作業や地域の皆さんへの配布作業に取り組みました。

ボランティア活動を通して地域に貢献し、ふるさとを大切にしていこうとする気持ちを育てていってほしいと期待しています。



## 1年生が「ふるさとウォーク」を行いました

10月25日(水)に、本校初めてとなる「1年生ふるさとウォーク」を行いました。秋晴れの中、市教育委員会生涯学習課の皆さんと本校学校運営協議会の皆さんに協力をいただき、子どもたちと一緒に行程10KMのコースを歩いていただきました。福田寺や法秀院の墓石、坂田神明宮、箕浦市場、若宮屋敷石碑、頼朝の腰掛石など、北国街道沿いに残る神社や史跡をたどりながら、みんなで一緒に歩くことで、新たな気づきや発見がたくさんありました。

みんなで一緒にじっくり歩きながら、ふるさとのよさをあらためて知り、これからも近江の地を自慢のふるさととして大切にしていきましょう。なお、昼食や休憩のため、宇賀野自治会長様、箕浦自治会長様にはたいへんお世話になりありがとうございました。

